

第1回定例研究会

「種痘術－そのひろがり地域（特に播磨・丹波）の特性－」

第1回定例研究会は、除痘館記念資料室専門委員の古西義麿先生をお招きして、「種痘術－そのひろがり地域（特に播磨・丹波）の特性－」というテーマで講演いただきました。古西義麿先生のご経歴は、下記の通りです。

【講師プロフィール】

昭和10年、兵庫県丹波市生まれ。兵庫県立西脇高校工業化学科、近畿大学理工学部(2部)、関西大学文学部をそれぞれ卒業。なお、関西大学より平成13年学位(文学博士)授与。武田薬品工業、大阪市立図書館(旭図書館長など)、大阪青山短期大学非常勤講師をへて、現在は橋本まちかど博物館長、除痘館記念資料室専門委員(幹事)。

著書

『鶴牧藩日記』(昭和47年、清文堂出版)

『大坂医師番付集成』(昭和60年、思文閣出版)

『緒方洪庵と大坂の除痘館』(平成14年、東方出版)

『関西文化研究叢書 別巻 和歌山県橋本市 谷口家・田中家所蔵資料目録』(平成18年、武庫川女子大学関西文化研究センター)

論文

「人痘種痘法から牛痘種痘法移行にみる医の文化－李仁山・シーボルト・梅浦修介等を通じて－」(近畿大学日本文化研究所編『日本文化の鉤脈』所収、平成20年、風媒社刊)、他多数。

講師

古西 義麿 氏(除痘館記念資料室専門委員)

テーマ

種痘術－そのひろがり地域（特に播磨・丹波）の特性－

講演日

2008年4月19日(土) 14:00～17:00 受付開始 13:30～

場所

武庫川女子大学 甲子園会館 K205

申し込み

不要